

サイレンを活用した防災行政無線による緊急放送

防災行政無線による緊急放送について、より確実に伝達できるよう、今後は避難勧告や避難指示をお知らせする際、右の表のとおり、まず最初にサイレンによる警告音を鳴らします。その後音声により内容を放送します。

内容	サイレンパターン	音声放送内容(参考)	
		風水害	津波
避難勧告 (サイレン音 +音声放送)	吹鳴 (休止) 吹鳴 5秒 6秒 5秒	〇〇川の水位が上昇しているため、〇〇地区に対して避難勧告を発令しました。	伊勢・三河湾沿岸への津波警報の発表に伴い、避難勧告を発令しました。
避難指示 (サイレン音 +音声放送)	吹鳴 (休止) 吹鳴 (休止) 吹鳴 3秒 2秒 3秒 2秒 3秒	〇〇川の水位が上昇し、〇〇地区に対して避難指示を発令しました。	伊勢・三河湾沿岸への大津波警報の発表に伴い、避難指示を発令しました。

※上記放送例は、津市防災ホームページで試聴することができます。

情報発信体制の強化

災害が発生し、津市ホームページへのアクセスが集中してつながりにくくなった場合、速やかにヤフー株式会社が運用するウェブサーバ上に津市ホームページの複製（キャッシュサイト）を作成し、途切れのない情報発信を行います。

また、津市ホームページからの情報発信ができなくなった場合は、北海道上富良野町と共同で運用するブログサイトを通じ、市内の被害状況や避難所の開設状況、ライフラインなどの情報を発信します。



津市・上富良野町が共同運用するブログ

HP 津市 上富良野町 ブログ

全市域的な非常通信手段を整備

既存のアナログ式移動系防災行政無線設備の老朽化に伴い、新たにデジタル方式による移動系防災行政無線を整備し、全市域的な非常通信手段を確保します。

Jアラート(全国瞬時警報システム)の活用

Jアラート(全国瞬時警報システム)からの津波警報等の緊急性の高い情報を防災行政無線や防災情報メールと自動連動させて、迅速な情報提供を行います。



防災情報メールによる情報提供

災害対応力の強化

災害時において市の各部署が担当する応急対策の実施手順や役割を明確にするとともに、救援物資等の受入体制や大規模災害時の輸送体系、応急給水対策、児童生徒の安全確保対策を見直し、災害対応力の強化を行います。

また、大規模被災地への職員派遣を通じて得た、さまざまなノウハウについても、今後の災害対応力の強化・向上に活用します。

災害時応援協定のさらなる推進

今年度は迅速な災害対応業務が行えるよう情報発信、物資の調達、医療救護活動、避難誘導看板の設置など、さまざまな協定を締結しました。今後もさらなる災害時応援協定の締結を推進します。

事業所の役割

災害が発生した場合、事業所内の従業員および利用者の安全を確保するとともに、経済活動の継続に努め、さらに地域や防災関係機関と連携した防災活動の実施や帰宅困難者対策としての一斉帰宅の抑制など、災害時における事業所の役割を明確にします。

問い合わせ 危機管理課 ☎229-3281 FAX223-6247